



みなみ

発行日 平成29年1月10日



No.11

地に足をつけてじっくりと！ ～奇を衒^{てら}わず正道を進む～

校長 宮 居 伝

新年 あけましておめでとうございます

本年も、保護者のみなさまや地域の方々のご理解ご協力を賜りながら、本校の教育活動を進めて参りたいと考えております。どうかご支援のほど、よろしくお願いたします。

ところで、今年は酉年ですが、『十二支物語』（諸橋轍次著・大修館書店）のなかに、次のような興味深い諺の話がありました。それは「犬馬は難く 鬼魅は易し」です。この言葉の意味について、諸橋先生は、

……「画を描く場合、犬や馬のようにすべての人が常に見馴れているものは、描き易いように見えて実は難しい。これに反して、鬼や魅（怪物）のように人が見たことこともないものは、描くのが難しいように感じますが、実はその方が簡単に描けるといのです。考えてみると、犬馬は誰もが知っているから批評が多い。鬼魅は何人も知らないから、何を描いても批判のできる人がいない。だから描くほうから言えば、かえって気安く仕事がしやすいわけです。」

また、「人間の修行の上からいって、平常の行動を平常に行っている平常人が実は一番大切な非凡の偉人であるにもかかわらず、そのタイプの人には世に認められず、特異の事を成し、異行をなす人だけが過分に称賛され、もてはやされることが多い。その風潮が高まると、ややもすれば異を立て奇を喜ぶ軽薄な通弊を生じないとも限りません。世の識者・指導者はこの語などに鑑みて、大いに注意してもらいたいと思います。」 …（後略）…

と書いておられます。

これは、ずいぶん前に書かれたものだったのですが、改めて考えさせられ、大切にしなければならないことのように感じました。

とりわけ、「世の識者・指導者はこの語などに鑑みて、大いに注意してもらいたいと思います。」の一文は「学校」「家庭」「地域」のそれぞれにおける教育の役割や在り方について、今一度、振り返り見つめ直すよう示唆を与えてもらっているようにも感じました。

日々の教育活動や子育ては「奇を衒^{てら}わず正道を進む」（とりたてて特別に何かすることだけに注目するのではなく、地道にじっくりと腰を据えて…を大切に！）ではないでしょうか。

三学期の主な行事

1月 *詳しくは第10号をご覧ください

- 10日(火) 第三学期始業式
- 11日(水) 給食開始
- 18日(水) 校内書き初め展(～1/31)

2月

- 2日(木) 一日入学・入学説明会
- 7日(火) Welcome能中(児童対象入学説明会)
- 15日(水) 校内版画展(～2/28)
- 17日(金) フッ化物洗口保護者説明会
学習参観日(◎低学年◎中学年◎高学年)

3月

- 1日(水) 6年生を送る会
- 17日(金) 卒業証書授与式
- 20日(月) 春分の日
- 22日(水) 給食終了
- 24日(金) 修了式
- 31日(金) 離任式



能登川博物館に展示 ～子どもたちの学びのあしあとを～



総合的な学習の
時間に取り組ん

できた子どもたちの学びが展示されています。

- 5年 琵琶湖学習(環境学習)
- 6年 ふるさと能登川大発見「近江だるま」の制作